



事務局ニュース

〈7号〉 2018. 11. 14

急に寒くなりました。この地方も紅葉が見られるようになりました。

おしらせ 日本体育協会 が 日本スポーツ協会 に変更

(一社)愛知水泳連盟公式キャッパー 大きく名称が変わりました。また、コーチ・教師・指導員の名称並び
しゃっぴー に資格取得内容も変わりますので、ご承知置きください。

2018年度(公財)日本スポーツ協会公認上級指導員養成講習会・検定試験

10月5日～8日の4日間、東海ブロックで上級水泳指導員養成講習会を日本ガイシアリーナにて開催しました。今年度は、旧資格制度最後ということもあり、全国から(長崎から群馬)52名の方々が参加されました。日本水泳連盟地域指導者委員長の宮本憲二先生、東海4県の普及委員長を中心に、4つの学科・実技指導・心肺蘇生実習・救助法と幅広い内容で行われました。検定最後の立泳ぎでは、互いの健闘を称える大きな拍手が起こり感動的でした。検定員の私たちも涙が浮かびました。この4日間は、仕事を休んで参加された方、体力的に相当厳しかった方がいらっしゃいました。しかし、この講習会で得られたものは極めて大きいと思います。是非、今後の指導に役立てていただきたいと思います。



〈学科講義〉



〈プロジェクターで学習〉



〈心肺蘇生実習〉



〈集合写真〉

充実した毎日で、52名の一員として一緒に学び、泳げたことは、一生忘れません。講師の先生方、ありがとうございました。講義で印象に残っているのは、“水を使って運動するのは水泳だけ！指導しなければ泳げない！水泳嫌いにさせない！！”です。今回教えていただいた知識や技術を忘れずにこれからの指導にいかしたいと思います。

(県外・男性)

最初はなることかと不安でいっぱいでしたが、いざ終わってしまうと、とても短い4日間でした。私は県外からの参加でしたが、全国からの受講生の方と接することができて、改めて水泳のすごさと楽しさを感じました。午前中の講義ではそれぞれの先生方に面白さがあり、飽きない内容で時間もすぐに経ってしまいました。ここは要チェックと言われながら試験で忘れした箇所もあり、自分の勉強不足を実感です。実技での水泳指導の方法や講義内容は自分の知らなかった部分・再認識させられた部分がたくさんあり、これからの指導に活かしていきたいです。ありがとうございました。

(県外・女性)

年齢的にも今年かな？という思いで参加しました。若い方から上の方、相当な年齢差がありましたが、それぞれ皆さん自分の信念を持っていらっしゃる方ばかりでした。講師の方も熱心により専門的に教えてくださり「資格もほしいけれど、この講義に参加できたことだけでも有意義だった。」と言う方もみえました。また、グループ別に分かれて意見を出し合って発表したことは、早速参考にして現場で教えてみようと思いました。さすがに試験の時は、最後まで教本・資料を離さず、実技は緊張した。という声がきかれました。

受講者も多かったので友達の数も増え、楽しかったです。お世話になりました。(県外・女性)

いろいろな意味で、緊張と不安を抱えての始まりでした。それでも、日を追うごとに会話をする方が増え、その不安も他の受講者の皆さんに解消していただいたように思います。最終日のしかも最後の実技試験後は、感激でいっぱいでした。それを同じ場にいた皆さんとハイタッチをして分かち合えたことが一番の思い出です。四日間は簡単ではありませでしたが、上級講習会という場でともに時間を過ごせた、全ての方に感謝しております。ありがとうございました。

(県内・男性)

東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアー

11月3日(土) 愛知県庁本庁舎正面玄関前ステージにおいて、フラッグ引継ぎ式(フラッグツアーアンバサダーから県代表者へ)がありました。競泳、今井美折(豊川高)さんが代表として参加されました。

